

問1 日本の農産物の統計において、茶の生産量は全国第2位（34%）ですが、生産額では全国の31%を占めて第1位（2019年時点）となっている都道府県はどこですか。（2022年 三重公立入試 類似）

1. 鹿児島県                      2. 静岡県                      3. 三重県                      4. 千葉県

問2 宮崎平野などの冬でも温暖な地域において、ビニールハウスなどを活用して行われる農業の特徴として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 徳島公立入試 類似）

1. 温暖な気候条件を利用して野菜の成長を早め、通常の収穫期よりも出荷時期を前倒しする栽培方法      2. 高冷地の涼しい気候を利用して野菜の成長を遅らせ、出荷時期をあえて後ろにずらす栽培方法      3. 冬の寒さを利用して野菜を凍結保存し、年間を通じて安定した供給を可能にする栽培方法      4. ビニールハウス等を使用せず、その土地の自然な気候周期に従って収穫を行う栽培方法

問3 鹿児島県の養豚業における統計的な特徴について説明します。1964年には約5万戸あった飼育戸数が、2014年には約1千戸まで激減している一方で、県全体の総飼育頭数は約100万頭から140万頭の間で維持、あるいは微増しています。このデータから読み取れる、現在の鹿児島県の養豚業の状況として正しいものを選びなさい。（2017年 滋賀公立入試 類似）

1. 1戸あたりの飼育頭数が大幅に増加し、経営の大規模化が進んだ状況。      2. 養豚農家の減少に伴い、県全体の豚肉生産能力が著しく衰退している状況。      3. 小規模な農家が多数残っており、伝統的な飼育方法が守られている状況。      4. 飼育戸数と総飼育頭数の両方が減少したことで、豚肉の希少価値が向上している状況

問4 宮崎県では、農業産出額の約3分の2を畜産が占めています。このように宮崎県で肉用牛、豚、鶏などの飼育が盛んになった背景として、土地の性質に触れた説明として最も適切なものを選びなさい。（2024年 茨城県公立入試 類似）

1. シラス台地が広がり水持ちが悪く稲作に適さない土地が多いため、広大な土地を活用した畜産が発展した。      2. 平野部が少なく耕地面積が限られているため、狭い土地でも効率よく収益が上がる畜産業に特化した。      3. 大消費地である東京から遠いため、野菜よりも保存や加工がしやすい畜産物の生産に力を入れた。      4. 冬でも温暖な気候を利用して、家畜の飼料となる穀物を二毛作で大量に生産できる環境があったため。

問5 九州地方北西部の海岸地形について述べた次の文のうち、長崎県周辺に広がる「リアス海岸」の説明として最も適切なものはどれか。（2023年 佐賀公立入試 類似）

1. 小さな岬と奥行きのある湾が複雑に入り組んでおり、海岸線が非常に長い。      2. 有明海の奥部のように、遠浅の海に土砂を積み上げて造られた平坦な土地である。      3. 川が運んできた土砂が河口付近に堆積してできた、低くて平らな地形である。      4. 海岸に沿って砂が堤防のように細長くたまり、湾をふさぐようにのびた地形である。

問6 福岡県内の主要都市を比較した際、福岡市は県全体の面積割合が約6.9パーセントであるのに対し、人口割合は約31.4パーセントを占めています。このような都市の状況を説明した文として最も適切なものを、次のうちから選びなさい。（2023年 岡山公立入試 類似）

1. 県全体の面積に占める割合は小さいが、人口が高度に集中しており、人口密度が極めて高い。      2. 県全体の面積に占める割合が大きいので、人口が多くても人口密度は低く保たれている。      3. 面積割合に比べて人口割合が低いので、都市部でも過疎化の問題が顕著になっている。      4. 広大な面積を活かして人口が分散しており、県内各地で均等な人口割合となっている。

問7 沖縄県の農業は、温暖な気候を活かした亜熱帯農業が特徴です。農業産出額の品目別割合を示した統計において、さとうきびなどの工芸作物を含む項目の割合が約40パーセントに達し、全国的に見ても独自の構成となっています。この項目に含まれる、沖縄県で生産が盛んな代表的な工芸作物はどれですか。（2017年 愛知公立入試 類似）

1. 稲（米）                      2. 野菜                      3. さとうきび                      4. 茶

問8 九州地方北西部の長崎県などに典型的に見られる、小さな岬と奥行きのある湾が複雑に入り組んで連なる海岸地形を何というか、名称を答えなさい。（2023年 佐賀公立入試 類似）

1. リアス海岸                      2. 干拓地                      3. 砂州                      4. カルデラ

問9 九州地方の再生可能エネルギーに関する調査報告において、大分県には日本最大級の出力規模を誇る八丁原発所があることが紹介されています。この発電所が位置する自治体名を次から選びなさい。（2022年 千葉県公立入試 類似）

1. 大分県九重町                      2. 熊本県阿蘇市                      3. 鹿児島県霧島市                      4. 長崎県雲仙市

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 鹿児島県	茶の生産において、かつては静岡県が生産量・生産額ともに圧倒的な首位でしたが、近年は大規模な機械化が進んだ地域が台頭しています。特に、シラス台地などの平坦な土地を利用して効率的な生産を行い、早期収穫が可能な品種（新茶）をいち早く出荷することで、生産額において全国トップクラスに成長したのがこの県の特徴です。
問2	<b>答え 1</b> 温暖な気候条件を利用して野菜の成長を早め、通常の収穫期よりも出荷時期を前倒しする栽培方法	九州南部などの温暖な地域では、その気候的特色とビニールハウスなどの施設を組み合わせることで、ピーマンやきゅうりなどの野菜を本来の季節より早く成長させる「促成栽培」が行われています。これにより、他の産地がまだ出荷していない時期に市場へ供給することが可能になります。
問3	<b>答え 1</b> 1戸あたりの飼育頭数が大幅に増加し、経営の大規模化が進んだ状況。	飼育戸数が50分の1程度に減少しているにもかかわらず、飼育されている豚の総数が減っていないということは、1つの農家が非常に多くの豚を飼育するようになったことを示しています。これは、資本を集中させて機械化や効率的な設備導入を行い、競争力を高める「経営の大規模化」が進んだ結果です。
問4	<b>答え 1</b> シラス台地が広がり水持ちが悪く稲作に適さない土地が多いため、広大な土地を活用した畜産が発展した。	宮崎県を含む南九州には、火山の噴出物が積み重なってできたシラス台地が広がっています。シラス台地は水はけが良すぎて稲作には不向きであったため、古くから畑作や、広大な土地を必要とする畜産業が発展しました。現在では、宮崎県は肉用牛、豚、ブロイラー（鶏）のいずれも全国有数の産出額を誇る「畜産王国」となっています。
問5	<b>答え 1</b> 小さな岬と奥行きのある湾が複雑に入り組んでおり、海岸線が非常に長い。	リアス海岸は、起伏の激しい山地が沈水することによって形成されるため、岬と湾が交互に現れる複雑な形状になります。これに対し、有明海奥部に見られる平坦な地形は干拓地や干潟であり、河口の堆積地形は三角州、砂が細長く伸びたものは砂州と呼ばれます。リアス海岸はその複雑な形状ゆえに、直線距離に比べて海岸線が非常に長くなるという地理的特徴があります。
問6	<b>答え 1</b> 県全体の面積に占める割合は小さいが、人口が高度に集中しており、人口密度が極めて高い。	福岡市は福岡県内において、面積の割合に比べて居住する人口の割合が非常に高いことが特徴です。このように、限られた土地に多くの人や都市機能が集中することを「人口の集中」と呼び、単位面積あたりの人口である「人口密度」が他地域に比べて著しく高くなります。統計上、面積割合の約4.5倍もの人口割合を抱えていることから、高度な都市化が進んでいることがわかります。
問7	<b>答え 3</b> さとうきび	沖縄県は年間を通じて温暖な亜熱帯気候に属しており、他の都道府県では栽培が困難な作物が中心となっています。特に、砂糖の原料となる「さとうきび」は、加工を目的として栽培される「工芸作物」に分類されます。沖縄県ではこの工芸作物の産出額が非常に大きく、統計上でも大きな割合を占めているのが特徴です。一方で、水資源の確保が難しい島嶼部の特性などから、稲作の割合は極めて低くなっています。
問8	<b>答え 1</b> リアス海岸	山地の谷の部分に海水が入り込むことで形成される、のこぎりの歯のような複雑な海岸線を指します。長崎県の北松浦半島周辺や長崎半島周辺で顕著に見られ、水深が深く波が静かなため、養殖業や天然の良港として利用されることが多いのが特徴です。選択肢にある「干拓地」は有明海などの遠浅の海を陸地化したものを指し、「砂州」は波の作用で砂が堆積した地形を指します。
問9	<b>答え 1</b> 大分県九重町	大分県九重町にある八丁原（はっちょうばら）発電所は、火山活動が活発な九州地方の特性を活かした日本最大級の地熱発電所です。大分県は温泉の湧出量も日本一であり、豊富な熱エネルギーを電力供給に活用している地域的な特色があります。